

非接触電力供給装置の商品化支援

浦井アドバイザーによる支援

開発中の技術に関し、是非権利化したいとの相談を受けたことをきっかけに支援を開始

特許権取得に向けたサポート

- 特許情報検索手法の説明
- 先行技術との比較・分析の支援
- 特許出願のための発明の抽出支援
- 弁理士と連携し、企業ニーズに合致した特許出願戦略策定の支援
- 国内優先権制度の説明
- 中小企業向け特許庁支援施策の紹介と活用提案

有限会社日本テクモ

これまでの数センチの電力伝送距離を数十センチに拡大すると共に大電力伝送を行なう技術の開発に成功！

- 権利取得の可能性を知りたい！
- 開発成果を十分に反映した広くて強い権利取得を目指したい！

特許情報活用による成果

- 特許出願 3件
特許第4318742号 他

- ▶ 知的財産を企業経営戦略の核として活用
- ▶ 知財マインドが大幅に向上

この支援によって開発・販売された商品

商品名「非接触自動充電装置」

非接触給電は、安全性、操作性、防水、防爆、耐久性、経済性に優れており、これからの電気自動車、各種ロボットの充電、給電には欠かせない技術です。従来の接触式に比べてスパークや感電の危険がなく、接続などの人的作業の軽減が可能です。なお、この装置は、株式会社ヘッズで組み立て・販売を行っております。今後大きな需要拡大が期待されます。

支援先企業の概要

会社名 有限会社日本テクモ 代表取締役 片岡 義範
住所 北九州市八幡東区 設立 1988年 資本金 2,700万円
ホームページ <http://www.n-tecmo.co.jp/>

浦井 正章(北九州知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

有限会社日本テクモで開発された「非接触自動充電装置」は、非常にユニークで技術的にも大変優れており、現在は自動車工場内で使用する部品の自動搬送台車に多く実用化されています。将来は電気自動車分野への進出が十分に期待できます。

また、本技術は九州大学との共同研究により、電磁誘導磁界の詳細な現象の解析が行なわれており、更なる電力伝送距離、電力伝送効率の改善が見込まれます。

今回の支援では、特許情報アドバイザーとして企業と弁理士の間の接着剤の役割を果たし、企業ニーズに合致した内容の権利取得ができたのではないかと考えます。



平成22年1月現在

